



# すすめるけん

県がすすめている取り組みを紹介します！

## 消防団で活動してみませんか？

県内の各市町にある消防団では、19,437名の団員が活動しています(2019年4月1日現在)。戦後は4万人を超える団員数でしたが、人口減少や少子高齢化などの影響で年々減少し、地域防災力の低下が懸念されます。

### 消防団とは

地域の会社員や自営業者、学生など、さまざまな職業や世代の方々が構成されており、地域防災の担い手として消防や防災活動を行います。

#### 活動内容

平常時は、火災現場での活動を想定した消火・防災訓練をはじめ、応急手当やAEDの使用法などを指導する救命講習会、地域における防火教育などを行います。

火災・災害発生時は、消火活動をはじめ、避難誘導や後方支援、捜索・救助活動、水防活動(河川の水位警戒、排水、浸水防止)などを行います。

#### 入団条件

18歳以上で、その市町に居住している方。(市町によっては、居住していなくても勤務や通学をしていれば入団できる場合があります)

#### 待遇

非常勤特別職の地方公務員。年額報酬(数万円程度)や出勤手当(1回あたり数千円程度)が支給されます。活動中にけがをした場合の公務災害補償や、一定期間以上勤務して退団した際の退職報償金などもあります。



### 消防団が活動しやすい環境づくり

県では、商工会などと協定を締結し、連携を推進するとともに、消防団や防災に関するセミナーを開催するなど、入団の促進や活動への理解を深めていただく取り組みを進めています。若者などの入団促進に向け、セミナーを大学などでも積極的に実施しています。

#### ■消防団員応援の店

地域の店舗や事業所のご協力をいただき、団員やその家族に優遇サービスを提供する取り組みです。協力していただける店舗や事業所を随時募集しています。



#### ■消防団協力事業所

従業員の入団促進や資機材の提供などにより貢献している事業所を市町が「消防団協力事業所」として認定。入札時に優遇される場合もあります。このほか、優良な事業所の表彰を行っています。



### 夢をかたちに!

長崎県知事  
中村法道

「安心快適な暮らし広がる長崎県」を目指し、市町と連携して、地域防災の要である消防団が活動しやすい環境づくりを進めるとともに、女性や若者を含めた団員の加入促進に取り組んでいきます。

問合せ 県の消防保安室 ☎095-895-2146 [ながさきの消防団](#) 検索



## 株式会社 杉原エンジニアリング

(時津町)



お話を伺ったのは  
取締役総務部長  
杉原皓介さん

### オーダーメイドの 自動化システムを提供

かつて炭鉱で使用する機械などを製造していた杉原製作所から1984年に設計・技術部門を分離独立し、創業しました。「あらゆる機械を創造する」という理念の下、各種自動化システムの設計から製造、メンテナンスまでを行っています。高い設計力と柔軟で細やかな対応で、お客様のニーズに合わせたオーダーメイドのシステムを提供しています。



設計室の様子。女性の技術者も活躍している



川崎重工工業株式会社と提携し、ロボットを使った自動化システムを製作している

### 人の手では難しい作業も こなすロボットを開発

当社では、「人と共に、人に代わって働くロボット」をテーマにロボットシステムを製作しています。農業用肥料の配合を自動化するシステムや湿布業界大手の製造ラインなど、発注元の企業と共同で開発を行っています。近年は、人手不足の解消にもつながるロボット事業にも力を入れています。昨年は佐世保市のメーカーから依頼を受け、お菓子を箱詰めするロボットシステムを開発しました。



県内で頑張っている企業や人に  
エール(応援)を送ります!

### 県内の若者を積極的に採用 「人が育つ」会社へ

現在社員は50名で、毎年県内の工業高校などから採用しています。自動化・省力化の面で県内外の企業を支える当社の事業内容は将来性とやりがいにあふれています。今後の目標は「人が育つ会社」にすることです。技術の進歩がとてつもなく速い今、社員一人一人が向上心を持って新しい時代に適応できるような風土を築きたいと思っています。そして、長崎という立地を生かしてアジアなど海外への展開にも積極的に取り組んでいきます。



箱詰めするロボットシステムの動作の確認作業



巧みな技術で、多様なニーズに応じた  
自動化システムを創造し、社会に貢献します。